恥感情, 行動抑制・接近システムと抑うつ, 怒りとの関連

佐伯 素子
(聖徳大学)

キーワード: 恥感情・行動抑制システム (BIS)・行動接近システム (BAS)

The relationship of shame and the BIS/BAS to depression and anger

Motoko SAEKI
(Seitoku University)

Key Words: shame, behavioral inhibition system, behavioral activation system

目 的

恥特性の形成には、気質要因が関与していると考えられている。違反した際に起こる不安、罪悪感や恥感情などの不快感情の経験しやすさには、恐れやすさといった気質的特徴が関わっているとされる (Kochanska,1991)。Derryberry & Reed(1994)の研究では、罰に敏感な気質をもつ子どもは、比較的弱い罰でも、より負感情を経験しやすく、道徳上の失敗など自己のネガティブな側面に目を向けやすく、恥感情を感じることも多くなることが示されている。また、成人を対象とした研究において、恥や罪悪感特性は負の情動性 (神経質など) と正の相関が認められている。恐れやすさ、負の情動性、罰への敏感さといった気質は、過度の不安や抑うつなどの内在化問題との関連が認められており、逸脱行動の抑制につながる一方で、過剰な統制や抑制が問題を内面化させると考えられている (Rothbart & Posner,2006)。一方、抑制不全によって恥感情から怒りへの変換も起こるものと推察される。

Gray(1987)は、脳の動機システムを仮定し、行動は接近と抑制システムによって制御されており、それらシステムは報酬や罰などの合図によって活性化され、行動の抑制や注意喚起を促すとしている。恥感情特性と抑うつや怒りなどの問題との関連には、行動抑制システムの感受性の高さが生物学的基盤となって、恥特性形成に影響を及ぼしている可能性が推測される。そこで、本研究では、恥感情と行動接近および抑制システムと、怒りや抑うつとの関連を検討する。

方 法

研究対象: 男性 121 名, 女性 148 名 (21.82 歳 SD1.686)
質問紙調査内容: a) BIS/BAS 尺度 (安田・佐藤, 2002)。
計 30 項目,4 件法。b) 状況別羞恥感情尺度 (成田, 1990)。
かっこ悪さ, 自己不全感, 計 35 項目, 4 件法。

c) 多面的感情状態尺度 (寺崎ら, 1992) 怒り項目 (敵意のある, 攻撃的な, 憎らしい, むっとした, かっとした, おこった), 抑うつ項目 (気がかりな, 悩んでいる, 自信がない, くよくよした, 沈んだ, ふさぎこんだ)。最近 2 週間の間に感じ程度。4 件法

結 果

1) 恥特性, 動機システム, 抑うつと怒りの相関関係 (表 1)
男女において、恥特性と BIS, 抑うつとの間には有意な正の相関が認められた。女性のみ恥特性の下位尺度「かっこ悪さ」と怒りとの間に正の相関が認められた。また, BIS と抑うつとの相関は、恥特性との相関よりも強かった。

2) 恥特性, 動機システムが抑うつと怒りへ及ぼす影響
男女合わせて、恥特性と動機システムを説明変数, 抑うつと怒りを基準変数とした重回帰分析を行った。その結果、有意となった標準化回帰係数は、恥自己不全から抑うつへ 0.141, BIS から抑うつへ 0.477, 恥かっこ悪さ, 恥自己不全から怒りへそれぞれ 0.248, -0.155, BIS, BAS から怒りへそれぞれ 0.154, 0.182 であった。

考 察

相関係数を算出した結果、恥特性は男女ともに BIS と正の相関が認められ、恥特性の生物学的基盤には抑制システムの関与が示唆された。また, BIS は抑うつへ正の影響を及ぼしており、恥特性傾向と抑うつとの関連には、BIS の影響が強い可能性が考えられた。

引用文献

安田朝子・佐藤徳(2002).行動抑制システム・行動接近システム尺度の作成, ならびにその信頼性と妥当性の検討.心理学研究, 73, 234-242.
Derryberry,D., & Reed, M.A. (1994).
Temperament and the self-organization of personality. *Development and psychopathology*, 6,653-676.
Gray, J. A. (1987). The psychology of fear and stress. London: Cambridge University Press.
(グレイ, J. 斎賀久敬・今村護郎・篠田彰・河内十郎 (訳) (1973). 恐怖とストレス 平凡社)

表1 恥特性, BIS, BAS, 抑うつ, 怒り間の相関係数

	恥特性		BIS				BAS				抑うつ
	かっこ悪さ	自己不全	羞恥感	回避	抑制性	BIS合計	接近	報酬	新たな報酬	BAS合計	
恥かっこ悪さ		.775 ***	.375 ***	.416 ***	.442 ***	.512 ***	.042	.223 **	.036	.113	.230 **
恥自己不全	.578 ***		.335 ***	.295 ***	.339 ***	.407 ***	.002	.210 **	.060	.100	.262 **
羞恥感	.307 ***	.242 **		.571 ***	.383 ***	.856 ***	.120	.137	.033	.117	.644 ***
回避ドライブ	.366 ***	.138	.598 ***		.369 ***	.808 ***	.132	.122	-.021	.096	.370 ***
抑制性	.176	.268 **	.452 ***	.498 ***		.708 ***	-.103	-.058	-.244 **	-.163	.197 *
BIS	.344 ***	.265 **	.856 ***	.835 ***	.775 ***		.072	.092	-.084	.033	.533 ***
接近ドライブ	.080	-.116	.152	.199 *	.039	.159		.420 ***	.565 ***	.828 ***	.126
報酬応答性	.123	.083	.286 **	.099	.112	.212 **	.576 ***		.615 ***	.790 ***	.054
新たな報酬体	-.108	-.031	.015	-.089	-.135	-.077	.478 ***	.644 ***		.869 ***	.033
BAS	.044	-.029	.183	.093	.012	.124	.832 ***	.874 ***	.821 ***		.090
抑うつ	.292 ***	.372 ***	.584 ***	.381 ***	.312 ***	.530 ***	.033	.029	-.096	-.009	
怒り	.161	-.088	.291 ***	.166	-.073	.168	.178	.142	.075	.160	.318 ***

上部Century女性 下部ゴシック男性

***p<.001 **p<.01 *p<.05